

東京放射線

2017年2月号

Vol.64 No.747



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

報 告	叙 勲	報 告	お 知 ら せ	会 告	巻 頭 言
平成27年度学術奨励賞 受賞報告 竹安直行	平成27年度新人奨励賞 受賞報告 山田美彩子	瑞宝双光章	東京都功労者表彰	第16地区勉強会（TART・SART地区合同） 平成28年度第8地区研修会 平成28年度第9地区研修会 定款改正案に関する意見募集	第15回ウィンターセミナー 第63回日暮里塾ワンコインセミナー 平成28年度第7回業務拡大に伴う統一講習会 平成28年度城西支部研修会 第15回ウィンターセミナー 白木 尚

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2017年

FEB

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 会員のメリット	副会長 白木 尚 4
会告1 平成28年度城西支部研修会	城西支部委員会 5
会告2 第15回ウィンターセミナー	学術教育委員会 6
会告3 第63回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 7
会告4 平成28年度第7回業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 第6地区meeting (第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) ...	第6地区・学術教育委員 10
会告6 第19回メディカルマネジメント研修会	学術教育委員会 11
会告7 平成28年度SR推進委員会研修会	SR推進委員会 12
会告8 第59回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 13
お知らせ1 第16地区勉強会 (TART・SART地区合同)	第16地区委員会 14
お知らせ2 平成28年度第8地区研修会	第8地区委員会 15
お知らせ3 平成28年度第9地区研修会	第9地区委員会 16
お知らせ4 平成28年度第5地区研修会	第5地区委員会 17
お知らせ5 公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款改正案に関する意見募集 ...	18
お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 19
東京都功労者表彰	20
叙勲 瑞宝双光章	22
平成27年度新人奨励賞 受賞報告	山田美彩子 24
平成27年度学術奨励賞 受賞報告	竹安直行 29
こ え	
・第58回きめこまかな生涯教育 印象記	加藤 葵 33
・OTAフェスタ感想文	大杉英治 34
・OTAふれあいフェスタ体験記	勝山紗希 34
・OTAフェスタに参加して	中西雄一 35
・おとな時間in早稲田の杜に参加して	牛川多恵、龍尾香朱美 36
・市民健康のつどいに参加して	大月智絵 37
パイプライン	
・超音波画像研究会 第248回定例会、レベルアップセミナー	38
平成28年1～12月期会員動向	39
平成28年度第9回理事会報告	40

Column & Information

・求人情報	33
・イエローケーキ	39、42
・学術講演会・研修会等の開催予定	43
・お詫びと訂正	43

巻頭言



会員のメリット

副会長 白木 尚

本年も「新春のつどい」が盛会に開催されましたこと、ご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。新しい年が明けて1ヶ月が経過しましたが、今年目標に対して計画通り順調に進んでいますか。

2月といえば世間は受験シーズン真っ只中、受験生を持つ会員の方々にはベストが発揮できること祈念申し上げます。さて、年間行事では「節分」。節分は雑節の一つで、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことで、節分とは「季節を分ける」ことをも意味しているそうです。人生においても「右か、左か」、分岐点に出会うことが節目節目で起こります。進学や就職や結婚、人生の岐路で選択に迷うことがあります。そして悩んだ末に、その選択肢の内の一つを選びます。人生の岐路に立った時。

①自分の意志とは違ったとしても幸せになる（自分で確証できる）道を選ぶのか…

②例え結果がどうなろうと（先は分からない）、自分の意志を貫き通すのか…

どちらにしても結果ありきの自己責任ですし、人それぞれの生き方や、捉え方によって違うでしょう。少なくとも上手くいかないときに、その原因をあのときの選択ミスに求めないで、自分が選択したことに自信と誇りを持って進んでいくことこそ幸せな人生というもののかも知れません。

選択と言えば、言うまでもありませんが私たちは診療放射線技師という職種に就き生活をしています。職場でチーム医療を推進する中で、生き生きと活躍する職種、若い世代の人たちが憧れる魅力ある職種となることは誰しもが望むところだと思います。それら私たちの将来のため、診療放射線技師の資格を守り、さらに活躍できる環境整備に取り組んでいるのが、本会の上部組織日放技であるのは周知のとおりですが、日頃そこまで意識している会員の方々は多くないと思います。なかなか目には見えない事実ですから。各省庁へ要望書を提出できる唯一の窓口は、私たち職種の職能団体である日放技です。当然ながら要望を聞き入れていただくには、組織率が重要な要因であることは紛れもない事実です。1月号の新春座談会でも申し上げましたが、ぜひとも会員3,000人を目標に組織率を上げたいです。それにより各省庁への要望も聞き入れ易くなり、より世間に対しても認知された職種へと進んでいくのも周知のとおりです。

一方、「入会していてもメリットがない」などの理由をよく耳にします。メリットはいくつもありますが、まずは、研修会・講習会が安価で受けられるなどは、直接すぐに受けられる有形のメリットです。ですが個人的には無形のメリットが大きいと思っています。自施設から外に出て他施設の診療放射線技師の方々との交流を持つことで、さまざまな生の情報が得られるし、客観的に自施設を見直すこともできます。情報は個人で収集することはできても、スイッチひとつで消えない人間関係を作って、相談・議論する方が数倍も有用です。新人のころ入会して、セミナーで隣に座って知り合いになった方に、学会などで顔を合わせて挨拶するくらいの関係から始まり、今ではお互いに役職に就いて、電話やメール、時には会っていろいろなことを相談できる仲間がたくさんできました。友達が友達を呼んでくれるという感じです。一生の友人ができたことは、私の人生にとってかけがいのない宝で技師会に感謝感謝です。会費の値段では比べられません。

「ひとりで見る夢は夢でしかない。しかし誰かと見る夢は現実だ」～by オノ・ヨーコ “一人ではどうしようもないことも、誰かと共に目標に向かうことで実現させることができます” 一人では決してできないことも、みんなで協力しながら進めていくことで共に喜びを分かち合う仲間がいる。これが技師会の最大の魅力ではないでしょうか。技師会活動は、「技師会はひとりのため、ひとは技師会のため」をモットーに進めていきたいです。皆さまのご協力なしには進んでいきません。ぜひとも同じ目標に向かって診療放射線職種の明るい将来を創っていきましょう。

平成28年度 城西支部研修会

テーマ：「ティーチングファイルーここがポイントー」 脳外科医が求める画像診断

講 師：東京医科大学病院 脳神経外科 田中 悠二郎先生

本年度は頭部画像を取り上げます。実際に手術・治療をする脳神経外科医が何を見て、何を必要としているのかを教えていただきたいと思います。この領域をCT、MRI画像を中心に解剖や疾病について基礎から学びたいと思います。今回、開催することによって皆さまが興味を持ち、講習翌日から頭部画像が楽しく見られるように一緒に勉強をしたいと思います。

病院、クリニック、検診施設の方など多くの方々の参加をお待ちしています。

記

日 時：平成29年2月10日（金）19時00分～20時30分（受付開始：18時30分～）

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟3階第1講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：丸の内線西新宿駅より 徒歩1分、JR新宿駅西口より 徒歩11分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城西支部”を選択）からお申し込みください。または下記メールアドレスへ、件名『城西支部研修会』にて氏名（ふりがな）、施設名、所属地区、会員（日放技番号）・非会員、返信先メールアドレスを記載の上、送信をお願いします。

問い合わせ：城西支部委員会 E-Mail：shibu_jyousai@tart.jp

第3地区委員長 平瀬繁男

第9地区委員長 市川篤志

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第15回 ウィンターセミナー

テーマ 「散乱線補正処理技術」

昨今、一般撮影領域で散乱線を低減させる画像処理が普及し使用されています。
今回はメーカー、ユーザーから講演を頂き、知識向上をして頂きたいと思います。
さらに実際に各施設での導入前後の使用状況の報告およびカセット等の展示も予定いたします。
多くの方の参加をお待ちしております。

～プログラム～

15:00-16:00 メーカー技術解説

富士フイルムメディカル株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
コニカミノルタ株式会社

16:10-17:10 使用経験報告

富士フイルムメディカルユーザー	日本大学医学部附属板橋病院	比内聖紀 氏
キヤノンユーザー	北里大学メディカルセンター	今花仁人 氏
コニカミノルタユーザー	東京女子医科大学病院	森田康介 氏

17:20-17:30 使用状況（撮影条件と処理パラメーター）

報 告 者	公立福生病院	野中孝志 氏
-------	--------	--------

17:30-18:00 質疑応答（ディスカッション）

記

日 時：平成29年2月18日（土）15時00分～18時00分

場 所：東京医科大学病院 教育研究棟3階第1講堂

ア ク セ ス：JR新宿駅西口下車 徒歩約15分

都営大江戸線 都庁駅下車 徒歩約7分

東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車 徒歩約1分

定 員：100名

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円

新卒かつ新入会員※ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育カウント2.5ポイント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第63回 日暮里塾ワンコインセミナー テーマ：明日から役立つ知識 ーグリッド（GRID）ー

講 師：独立行政法人国立病院機構東埼玉病院 放射線部 副診療放射線技師長 永井 優一 氏

今回は散乱X線除去用グリッドを特集します。

昨今、画像上での散乱線補正処理が行われるようになり、今後使用頻度が減る可能性があります、その前に基礎の基礎となるグリッドの原理、役割、種類、性能など学びたいと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成29年2月24日（金）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成28年度第7回業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。本会において本年度7回目として開催致します。

記

第7回

日 時：平成29年3月4日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成29年3月5日（日）8時30分～17時30分

場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス

東京都世田谷区駒沢1-23-1

ア ク セ ス：田園都市線駒澤大学駅 徒歩10分

募 集 人 数：100名

申込み期間：平成29年1月6日～平成29年2月18日

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア）講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます

以上

プログラム

3月4日(土)

時限	時 間		内 容	
	8:30～ 8:50	20	受付	——
	8:50～ 9:00	10	オリエンテーション	
1	9:00～ 9:50	50	静脈注射（針刺しは除く）1*	講義（DVD聴講）
2	9:50～10:40	50	静脈注射（針刺しは除く）2*	講義（DVD聴講）
3	10:50～11:40	50	静脈注射（針刺しは除く）3*	講義（DVD聴講）
	11:40～12:40	60	昼休み	——
4	12:40～13:30	50	下部消化管 1*	講義（DVD聴講）
5	13:30～14:20	50	下部消化管 2*	講義（DVD聴講）
6	14:30～15:20	50	下部消化管 3*	講義（DVD聴講）
7	15:20～16:10	50	下部消化管 4*	講義（DVD聴講）
8	16:20～17:10	50	法改正	講義（DVD聴講）

3月5日(日)

	8：20～ 8：30	20	受付			―――	
9	8：30～ 9：20	50	IGRT1			講義	
10	9：20～10：10	50	IGRT2			講義	
			1班			2班	
11	10：20～	60	BLS	実習	50	IGRT3	講義
	途中で適宜休憩	80	静脈	実習	50	下部	実習
	～12：50				50	IGRT	実習
～	12：50～13：50	60	昼休み				
	13：50～	50	IGRT3	講義	80	静脈	実習
	途中で適宜休憩	50	下部	実習	60	BLS	実習
15	～16：20	50	IGRT	実習			
16	16：20～17：10	50	確認試験			試験	
	17：10～17：30	20	修了式				

* 受講済みの場合、講義免除対象とする。ただし実習及び確認試験は免除対象外である。



交通アクセス

所在地：〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

電車の場合

東急田園都市線「駒沢大学」駅下車。「駒沢公園口」出口から徒歩約10分。

第6地区meeting

(第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)

テーマ「そうだったのか！基礎知識編（一般撮影・バリウム検査・医療事故）」

今年も第6地区では、東京都診療放射線技師会学術教育委員会と合同勉強会を企画しました。今回のコンセプトは“勉強したくても、なかなかやってない基礎的な勉強会”です。“たくさん撮って身に着けたけれど検査数が少ない、教わりたいけど何からやったらいいかわからない”小規模施設の診療放射線技師の皆さま、こんな風に思ったことはありませんでしたか？ また苦手意識を持ってしまっていないでしょうか？ わからないことや、うまく撮るコツは、技師会の先輩に聞けば良いのです。われわれ「第6地区meeting」ではそれをお教えいたします。一緒になって考えましょう。何かつかんで帰路に着ける会にできるように頑張ります。是非、一度お越しください。先輩・後輩・他地区・学生の皆さま、分け隔てなく一緒に学びましょう。第6地区委員一同お待ちしております。

プログラム

- | | |
|------------------------------|----------------|
| ◆「そうだったのか！四肢撮影」 | 公立福生病院 市川 重司 氏 |
| ◆「胃・大腸バリウム検査上達へのコツと工夫」 | 東葛病院 安藤 健一 氏 |
| ◆「放射線科内医療事故ディスカッション～情報の共有化～」 | 第6地区委員 |
| ◆「研究報告」 | 中央医療技術専門学校 学生 |

記

日 時：平成29年3月4日(土) 16時00分～18時40分（受付開始：15時30分～）

場 所：中央医療技術専門学校 視聴覚室

〒124-0012 東京都葛飾区立石3-5-12

ア ク セ ス：京成押上線「京成立石駅」下車 徒歩7分（各駅停車をご利用ください）

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先名は“6地区”を選択）からお申込みください。※当日参加も可能です

問い合わせ：第6地区委員長 高橋克行 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※新卒かつ新入会とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第19回メディカルマネジメント研修会

テーマ「標準スキル・モラルクラウドシステム」

～可視化と褒める評価で成長し続ける組織～ (診療放射線技師育成支援)

講師：株式会社ベネスト ビジネスアドミングループ 益田 敏治 氏

第19回メディカルマネジメント研修会を標記の内容で開催致します。

昨今、人材教育、評価は非常に重要視されています。そのような背景を踏まえ、どこかの病院の診療放射線技師でも同じ基準でスキルを可視化することができるシステムを紹介し、業務の評価や組織の活性化に役立てればと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成29年3月7日（火） 19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※人数により締め切ることがあります。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成28年度 SR推進委員会（公益・災害）研修会 テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させない～」

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、今年度も研修会を企画しました。

今年度は、新たな内容として放射線被ばく、もしくは被ばくの可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要な知識やスキルを学習します。また、原子力規制委員会から出されている原子力災害対策指針は改正が数多く出されています。その指針を踏まえた講義を行います。皆さまの参加をお待ちしております。

プログラム

時間	タイトル	講師
13:00～13:10	開会の辞	SR推進委員会委員
13:10～14:00	緊急被ばく医療について	
14:10～14:50	養生実習	
15:00～15:50	被ばく傷病者受け入れ実習	
15:50～16:20	質疑応答	
16:20～16:30	閉会の辞	

記

日 時：平成29年3月12日（日）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：40名（先着順）

受講料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（“災害対策委員会”を選択）、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育3.0カウント付与

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺 靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第59回きめこまかな生涯教育

テーマ「乳がんを理解する」

講師：国家公務員共済組合連合会 立川病院 服部 裕昭 先生

一般的に乳腺疾患（がん）を理解する上で、画像だけでなく、多方面からの知識が必要です。今回はステージングやサブタイプ分類を特集して勉強したいと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00～16:00 ステージング（病期）TNM分類

16:15～17:15 サブタイプ分類

記

日 時：平成29年3月25日（土）（受付開始：14時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術教育2.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 1

第16地区勉強会 TART・SART地区合同

テーマ「骨軟部 撮影セミナー2017～初学者からベテランまで抑えておきたい四肢撮影技～」

記

日 時：平成29年2月18日(土) 9時50分～18時00分
場 所：済生会川口総合病院 講堂 (B1) 埼玉県川口市西川口5-11-5
交 通：京浜東北線 西川口駅下車西口より 徒歩約8分
受 講 料：2,000円
申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム (研修会申し込み先は“16地区”を選択) からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
問い合わせ：第16地区委員長 工藤年男 E-Mail: areal6@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上

セッション1 10:00 ▶ 11:30	一般演題(各15分)	座長 東京大学病院 国立精神・神経医療研究センター病院	田部井 勝行 釋迦堂 充
①「機能解剖を考える ～手関節～」 ②「THA術前計画における股関節30度内旋位PA撮影の検討」 ③「上腕骨頭上骨折症例における再撮影の検討」 ④「ACS患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」 ⑤「誰でも簡単スカイラインビューの実践」 ⑥「Dual Energy CTを用いた乾癬性関節炎の画質評価」		上尾中央総合病院 さいたま赤十字病院 埼玉県済生会川口総合病院 所沢ハートセンター 堀ノ内病院 東京慈恵会医科大学附属病院	仲西 一真 大河原 侑司 西田 衣里 柴 俊幸 小池 正行 宮崎 健吾
セッション2 11:40 ▶ 12:40	メーカーセッション「ランチョンセミナー(各20分)」	座長 上尾中央総合病院	滝口 泰徳
①「最新画像処理【ダイナミック処理について】」 ②「ワイヤレスフラットパネルを用いた四肢撮影への新しいアプローチ」 ③「キヤノンデジタルラジオグラフィCXCシリーズの紹介」		富士フイルムメディカル株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン社 キヤノンライフケアソリューションズ株式会社	宮野 武晴 北中 康友 伊藤 琢也
技師講演 12:50 ▶ 13:50	座長 埼玉医科大学病院 高橋 忍		
「撮影から考える(診る)疾患、疾患から考える撮影(読影や撮影の工夫・ポイント)」			
①「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」 ②「技師として手疾患を撮る(診る)」		深谷赤十字病院 船橋市立医療センター	坂本 里紗 石塚 瞬一
セッション3 14:00 ▶ 15:00	救急撮影セッション	座長 羽生総合病院	大野 渉
「明日から実践！～救急撮影の基礎を学び、疑問を解消～」			
①「外傷診療における救急撮影の基礎」 ②「みんなで創ろう、実践的救急撮影法」		さいたま赤十字病院 上尾中央総合病院	渡部 伸樹 内田 瑛基
セッション4 DR 15:10 ▶ 16:10	DRセッション	座長 東海大学医学部付属八王子病院	由地 良太郎
①「臨床に適した画像処理選択の基本 ～四肢撮影を中心に～」 ②「線量指標 EI の基礎知識 ～整形外科領域での活用法～」		埼玉県済生会川口総合病院 獨協医科大学越谷病院	森 一也 高橋 利聡
教育講演 16:20 ▶ 17:20	座長 埼玉医科大学病院 岡本 康正		
①「骨軟部診断情報研究会での症例検討紹介」 ②「各施設一般撮影領域線量比較の取り組み」		昭和大学歯科病院 関東労災病院	石田 秀樹 若林 一成
特別講演 17:30 ▶ 18:30	「(特別講演)」	座長 JR東京総合病院	後藤 太作
「日々の撮像に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」			
		埼玉医科大学病院	竹澤 佳由 先生

※ 駐車券はございませんので 公共の交通機関をご利用ください

平成28年度 第8地区研修会

①テーマ：「X線の医療応用について」

講 師：作美 明 先生（NTT東日本関東病院 放射線科 医学物理士）

昨今、放射線治療分野において重要な役割を果たしている医学物理士の方に「X線の医療応用」についてお話しいただきます。X線の発生から診断領域・治療領域で、人体の中で起こるX線の相互作用などについて放射線物理の面から解説していただきます。

この機会に気持ちを新たにX線について勉強してみたいはいかがでしょうか。

②テーマ：「シーメンス社血管撮影装置 Artis Qの使用経験について」

講 師：塚本 篤子 先生（NTT東日本関東病院 放射線部 特別医療技術主任）

NTT東日本関東病院で導入した、最新の血管撮影装置についての紹介と使用経験を話していただきます。また講演後に血管撮影装置および放射線治療装置の見学も予定しています。

記

日 時：平成29年2月25日（土）15時00分～17時00分（受付：14時30分～）

場 所：NTT東日本関東病院 健康管理棟6階会議室 東京都品川区東五反田5-9-22

ア ク セ ス：JR山手線及び東急池上線 五反田駅 徒歩約7分

都営地下鉄浅草線 五反田駅A7出口 徒歩約5分

詳細はHP参照してください <https://www.ntt-east.co.jp/kmc/access/>

受 講 料：診療放射線技師500円

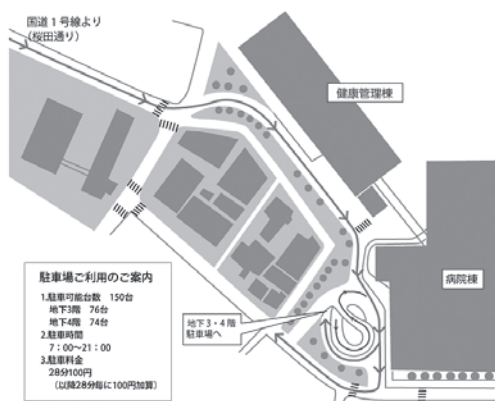
新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“8地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第8地区委員長 鎌田 治 E-Mail：area08@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



研修会当日は休診日のため、休日夜間出入口よりお入りください。

順路案内の掲示に従って健康管理棟6階までお越しください。

※新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 3

平成28年度 第9地区研修会 テーマ「夜勤時における撮影のポイント（基礎編）」 ～ CT Angio MRI ～

今回、第9地区では「夜勤時における撮影のポイント（基礎編）」ということで研修会を開催いたします。
どこの施設も夜勤時は少人数で勤務され、困った点や疑問に思った点などあるかと思います。必要な基礎知識を実際の症例などと合わせながら解説していく予定です。
多くの皆さまの参加をお待ちしております。

～プログラム～

CT	日本大学医学部附属板橋病院	市川 篤志
Angio	帝京大学医学部附属病院	西郷 洋子
MRI	日本大学医学部附属板橋病院	松田 雅之

記

日時：平成29年2月28日（火）19時00分～20時30分（受付：18時30分～）

会場：板橋区立グリーンホール 東京都板橋区栄町36-1

アクセス：東武東上線「大山」駅 北口から徒歩約5分
都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口から徒歩約5分

受講料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“9地区”を選択）からお申し込みください。または、会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定員：50名

問い合わせ：第9地区委員長 市川篤志 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成28年度 第5地区研修会『第5地区のつどい』 テーマ「胸部ポータブルX線画像の読影」

講師：東京大学医学部附属病院 放射線科 大倉 直樹 先生

今年も第5地区において、好評をいただいております地区研修会「第5地区のつどい」を開催致します。この研修会は、演者と皆さまが活発に議論することにより、知識を深めることを趣旨とした勉強会です。

今回は、胸部ポータブルX線画像における読影のポイントなどについて、医師の目線から講演していただきます。胸部ポータブル撮影は新入職員からベテランの診療放射線技師まで多くの方が撮影に携わっていると思います。読影力の向上、撮影体位の検討、再撮影の基準についてなど、翌日からの業務に非常に役立つ講演内容と思われます。一人でも多くの会員の皆さまに参加していただきたく、このテーマで企画しました。

また研修会後は意見交換会をご用意しておりますので、ご参加いただいた皆さまの交流をさらに深めて地域医療の発展に繋げていただければ幸いです。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成29年3月3日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：東京大学医学部附属病院 入院棟A 1階 レセプションルーム

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

ア ク セ ス：丸の内線 本郷三丁目駅2番出口 徒歩約10分

大江戸線 本郷三丁目駅5番出口 徒歩約10分

千代田線 湯島駅1番出口 徒歩約15分

受 講 料：診療放射線技師500円、新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

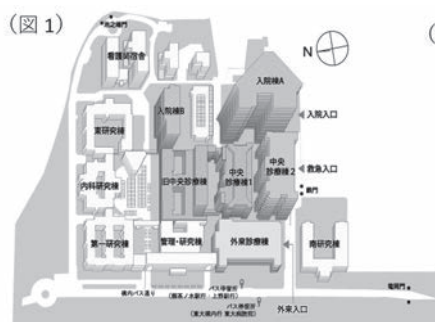
申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“5地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※当日参加可能ですが、会場のスペースの関係で事前登録者を優先させていただく場合がございます。できる限り「事前申し込み」をお願いいたします。

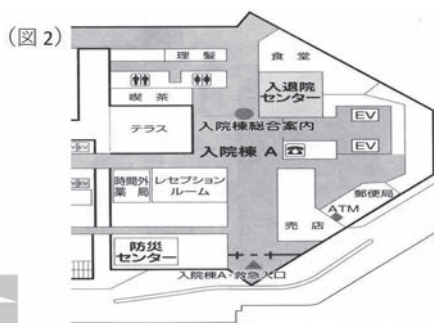
問い合わせ：第5地区委員長 稲毛秀一 E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



①図1の入院棟A「入院入口」をお入りください。



②図2の「入院棟A救急入口」から、中廊を通り、1階フロアに入って左側のガラス張りの部屋がレセプションルームです。

※ 図1の「入院入口」と、図2の「入院棟A・救急入口」は同じ入口です。

お知らせ 5

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款改正案に関する意見募集

会員の皆さまにおかれましては、いつも本会事業に対しましてご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。
本会では、年一回開催されます定期総会の運営を確実かつ効率よく行うために、総会の構成要員を従来の会員出席の方法から、本会の支部・地区から選出された「代議員」による「代議員制総会」に移行したいと考えております。「代議員制総会」導入に際しては、本会定款・諸規程の改正・新設が必要となるため、定款諸規程等検討委員会を中心に本会内で検討を重ねてまいりました。

このたび、会員の皆さま方から広くご意見をいただきたく定款の改正案を掲示いたします。

ご意見等ございましたら下記の方法によりご提出ください。なお、ご提出していただいた内容に対する、個別の回答はいたしませんのでご了承ください。

記

募 集 期 間：平成29年1月15日（日）～平成29年2月28日（火）

提 出 方 法：本会ホームページ（<http://www.tart.jp>）より意見書様式（Word）をダウンロードしていただき、郵送・FAX・電子メールのいずれかでお寄せください。

電子メールで送付される場合の件名は、「定款改正パブリックコメントの件」としてください。

送付・お問い合わせ先：

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 定款諸規程等委員会

FAX：03-3806-7724 E-mail：tart@tart.jp

以上

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ<http://www.tart.jp/>に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。



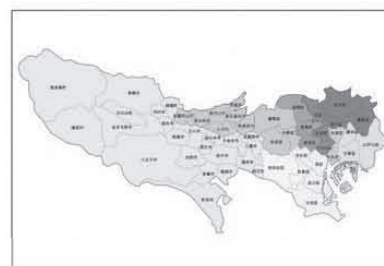
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区 第5地区 第9地区 第13地区
第2地区 第6地区 第10地区 第14地区
第3地区 第7地区 第11地区 第15地区
第4地区 第8地区 第12地区 第16地区

関東支部	第1地区	千代田区	台東区	
	第2地区	中央区	台東区	
	第7地区	墨田区	江戸川区	江東区
城南支部	第14地区	千葉方面地区	千葉地域	
	第4地区	港区	渋谷区	
	第9地区	品川区	大田区	
	第11地区	世田谷区	目黒区	
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域	
城西支部	第3地区	新宿区		
	第9地区	板橋区	豊島区	
	第10地区	練馬区	中野区	杉並区
神奈支部	第5地区	文京区	市川	
	第6地区	足立区	葛飾区	墨田区
多摩支部	第18地区	埼玉方面地区	埼玉地域	
	第12地区	西東京市	清瀬市	東久留米市
		小平市	東村山市	東大和市
		武蔵村山市		
	第13地区	上記、第12地区以外の多摩地域		



東京都功労者表彰



医療法人社団寿英会 内田病院 放射線部 部長

ひらばやし ひでゆき
平林 秀行

昭和31年2月25日生（60歳）

経 歴

昭和49年 4 月	城西放射線技術専門学校	入学
昭和52年 3 月	同	卒業

職 歴

昭和54年 8 月	医療法人 老沼病院	入職
平成 2 年 9 月	同	退職
平成 2 年10月	巢鴨三浦クリニック	入職
平成 3 年 3 月	同	退職
平成 3 年 4 月	医療法人社団寿英会 内田病院	入職
	現在に至る	

団体歴

平成 5 年 4 月～平成11年 3 月	社団法人東京都放射線技師会	第6地区委員
平成11年 4 月～平成13年 3 月	社団法人東京都放射線技師会	理事（第6地区委員長）
平成13年 4 月～現在に至る	社団法人東京都放射線技師会	第6地区委員

賞罰歴

平成15年 5 月	小野賞：社団法人東京都放射線技師会
-----------	-------------------

東京都功労者表彰を受けて

平林秀行

この度、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、平成28年10月3日に東京都庁において「東京都功労者表彰」を東京都知事 小池百合子様より受賞致しました。

受賞に際し、篠原健一会長はじめ各理事、表彰委員会から推薦をいただいた事に心から感謝申し上げます。また審査書類作成にあたり高野修彰理事には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

診療放射線技師として30余年、医療法人 老沼病院と巣鴨三浦クリニック、現在の医療法人社団寿英会内田病院に勤務してまいりました。

内田病院に勤務した当時のCTは一回の息止めで一枚の画像しか得られず、腹部や胸部の広範囲部位の撮像に20分近くの時間が必要でしたが、その後ヘリカルCTを導入して、検査時間の短縮とクオリティーの高い画像情報の提供に努めました。その後、一般撮影にFCRを採用、X線透視装置もDR化しPACSを導入しました。

日々の業務の傍ら平成5年より第6地区委員を20余年、平成11年から理事を一期お引き受けしました。理事としては、当時の地区委員会は参加人数も少なく、地区活動の活性化を図るためにはまず地区委員の活性化が必要と考え、地区委員の意識改革のため意義や役割の理解を求めました。

現在は後任の理事、地区委員長の方々の努力で地区活動も活発になり、地区委員として活動させていただいております。

最後に、公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念致しまして、東京都功労者表彰のお礼と感謝の言葉に代えさせていただきます。

平林秀行様の東京都功労者表彰の祝辞

会長 篠原健一

この度の平成28年度東京都功労者表彰（知事表彰）におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された平林秀行様が受賞されましたことをご報告し、心よりお祝いを申し上げます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受賞であり慶びに堪えません。

平林様は昭和54年に医療法人・老沼病院に入職以来37年以上の永きにわたり診療放射線技師としてこの道一筋に奉職されました。この間、医療機器の発展に従い、診療放射線技師に求められる画像情報を解りやすく的確に提供することに努められました。画像診断機器の効率的運用を心掛け、撮影技術の確立に励み、医師から高い信頼を得ることができたといえます。近年では、3D画像の提供や、PACSの導入などにいち早く取り組み、被曝低減を図りながら診断価値の高い画像情報の提供が短時間で行えるよう臨床の場に貢献されました。

本会においては、地区委員を現在まで20年以上務められ、平成11年からは2年間理事（第6地区委員長）に就任されました。第6地区には中小の病院が多く、一人勤務の方が多いため、「新しい技術の習得と学術の向上」を目的に技術研修会や施設見学会などを積極的に開催されました。理事退任後も地区委員として理事をサポートし、地区活動に貢献されております。

この度の平林様の受賞は、診療放射線従事者としての技術発展・地域医療に対するご功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、平林様の益々のご健勝をお祈りしお祝いの言葉とさせていただきます。

叙勲 瑞宝双光章 受章



元 医療法人財団慈生会 野村病院 放射線科長

たけなか てるかず
竹中 輝和

昭和28年8月2日生（63歳）

経 歴

昭和48年 4 月 1 日	東京都放射線技師専門学校	入学
昭和51年 3 月31日	同	卒業

職 歴

昭和51年 3 月26日	成人病研究所	入職
昭和51年 9 月 1 日	うしお病院	入職
昭和53年 9 月21日	医療法人社団好仁会 滝山病院	入職
昭和60年12月26日	長嶋病院	入職
昭和62年 6 月21日	梅園病院	入職
平成元年 9 月 5 日	八王子中央病院、藤ヶ丘病院	入職（兼務）
平成 6 年 8 月21日	医療法人財団慈生会 野村病院	入職
平成25年 8 月31日	同	定年退職
平成25年 9 月 1 日	立川中央病院附属 健康クリニック他	勤務

団体歴等

平成11年 4 月～平成17年 3 月	社団法人東京都放射線技師会	理事（第13地区委員長）
平成17年 4 月～現在に至る	同	第13地区委員
平成14年 4 月～平成24年 3 月	全国病院経営管理学会	放射線業務委員会 委員
平成16年 4 月～平成26年 3 月	(社) 東京精神病院協会	府中看護高等専修学校 非常勤講師
平成10年11月～平成12年11月	多摩放射線技師連合会	副会長
平成12年11月～平成16年11月	同	会長

賞罰歴

平成19年 6 月 8 日	永年勤続表彰（30年）：社団法人日本放射線技師会
平成22年 5 月22日	東京都福祉・保健局長 感謝状
平成24年10月 1 日	東京都功労者表彰（労働精励）
平成27年 6 月27日	小野賞：公益社団法人東京都診療放射線技師会

叙勲を受けて

竹中輝和

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、平成28年11月3日付で瑞宝双光章を受章いたしました。受章に際し、篠原会長はじめ各理事、表彰委員会から推薦いただいたことに心より御礼申し上げます。また書類作成にあたり高野理事にお手数をおかけしました事に深謝申し上げます。

私は、放射線科の助手として病院に勤務し始めてから45年になりました。卒業時、西岡清春教授に感銘を受けていた私は一緒に働きたいと思い大学病院への就職を止め、先生が週一勤める民間病院へ就職しました。しかし民間病院は病院倒産や買収工作などがあり波乱に満ちた職歴となりましたが、十数年後に野村病院で西岡先生と再会することができ、公私にわたり十数年間楽しい時間を過ごすことが出来ました。その中で技師会活動に参加し始め、地区委員の経験もない私が突如平成11年に13地区の理事、更に平成13年には多摩支部長に任命されました。一番の思い出は平成13年に立川で行った都民講演会で実行委員長を務めた事であり、立川市長ご夫妻はじめ多くの都民にも参加していただき盛会となった事です。諸先輩のご指導、皆様の支援を受け何とか乗り切ることが出来ましたが、これにより自分の中に何かしらの自信が生まれたように思います。

地区・支部活動では伊藤理事には大変ご協力頂き12地区との交流も盛んになりましたし、時には100数十名が参加する研修会を開催できるようになった事は大きな誇りであり、一つの成果であると考えています。東日本大震災ではビッグサイト、味の素スタジアムでのサーベイには13地区委員として初日から参加しました。後任理事たちも私以上に積極的に参加した事は喜ばしく思っています。平成19年には医療安全管理者の認定を取り、院内、多摩地区で活動をし、又看護学校の非常勤講師も10年以上務めました。病院経営管理学会の放射線業務委員会では経営面での見方を学びました。今後は、これらの活動を引き継いでくれる後輩達の背中を押します。

最後に、公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と皆様のご活躍を祈念し、叙勲の謝辞に代えさせていただきます。

竹中輝和様 叙勲の祝辞

会長 篠原健一

この度の平成28年秋の叙勲におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された竹中輝和様が瑞宝双光章を受章されましたことをご報告申し上げますとともに、心よりお喜びを申し上げます。このことは、都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受章であり、喜びに堪えません。

竹中様は昭和51年に東京都立放射線技師専門学校を卒業され、同年成人病研究所に入職されて以来、40年以上の永きにわたり診療放射線技師としてこの道一筋に奉職されました。医療機器の発展に合わせた撮影技術の習得に努め、診療放射線技師に求められる画像情報を正しく的確に提供することに努めてこられました。自らの知識、技術の向上を図りながら、後輩の指導・育成を行い、現施設で科長に就任後は撮影機器のデジタル化を図り、予防医学にも大きな力を注がれました。肺がん検診での低線量CTには十数年前から取り組み、その画像を国際医用画像総合展にも出展し、更にメーカー技術者とも協議を続けCT画像の改善にも協力しました。常に撮影技術や画質の向上を求め、研鑽を怠らない行動は多くの後進に影響を与えました。

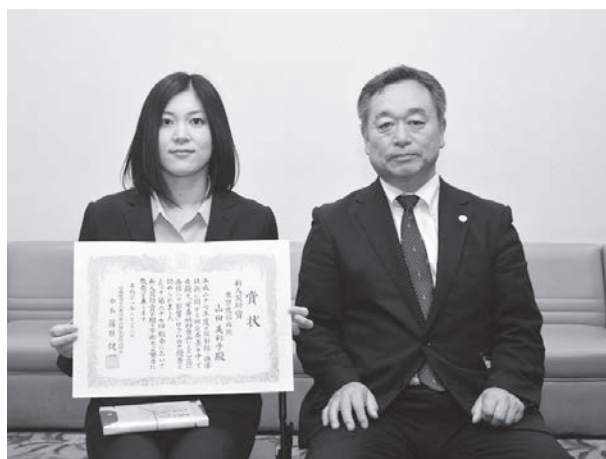
本会におきましては、平成11年度から平成17年度まで第13地区理事として、また現在も地区委員としてご尽力いただいております。また、東日本大震災に伴う原発災害による都内避難所におけるサーベイ活動では、開始直後から計4回参加されました。メールで配信された簡易マニュアルと自ら緊急に集めた資料を持ち避難所に駆けつけ、被災者の皆さんに不安を与えないことを第一にわかりやすく説明していただきました。

この度の受章は、医療及び診療放射線従事者として、国民医療・地域医療に対する永年のご努力が高く評価されたものであります。あらためてお慶びを申し上げますとともに、本会の発展と後進のために今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

先生の益々のご健勝をお祈り申しあげ、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成27年度 新人奨励賞 受賞報告

「栄養補助食品によるMRI画像への影響」



○山田 美彩子、一坂 秀一、山下 素幸、寺島 俊幸、大室 正巳

東京通信病院 放射線科

【背景】

手術既往歴の無い患者の腹部撮影を行ったところ、金属アーチファクトが見られた。

問診を行ったところ、鉄成分が含まれる栄養補助食品を摂取したとのことだった。

平成24年の調査では、いわゆる健康食品を「毎日利用している」「たまに利用している」人が約6割いて^(※1)、食事制限のない場合では検査当日も摂取していることは十分に考えられる。特に鉄などの金属を含む栄養補助食品ではMRI画像に影響があるのではないかと予想される。

(※1 消費者の「健康食品」の利用に関する実態調査(アンケート調査)平成24年5月 消費者委員会)

【目的】

強磁性体である鉄成分を含む栄養補助食品がMRI画像に与える影響を把握し、対応を検討する。

【方法】

- ①市販されている鉄含有量の異なる栄養補助食品3種類をファントム内に設置して、通常の検査で使用している腹部条件で撮像し、画像の歪みの大きさを計測する。
- ②十分に説明し同意を得たボランティアに栄養補助食品を摂取してもらい、15分～9時間まで時間をおいて繰り返し撮像して、画像の歪みの大きさの時間的変化を観察する。

【使用機器】

- ・MRI 装置：PHILIPS社製 Intera 1.5T R2.6
- ・コイル：XL-Torso コイル
- ・ファントム：日興ファインズ MRI ファントム 90-401

【撮像シーケンス】

撮像に通常の腹部シーケンスを使用した(表1)。

	息止め	TE	TR	FOV	Matrix
T2 TSE	あり	100	4598	370	240
DUAL FFE	あり	2.3/4.6	147	370	224
T2 TSE SPIR	あり	100	4616	370	240
DWI EPI	なし	66	4510	380	112

表1 腹部検査用シーケンス

【使用した栄養補助食品】

- ・VOR Natural TETSU Mineral
鉄含有量：84mg/粒
一日摂取目安量：1粒
- ・アサヒ Dear-Natura 鉄・葉酸
鉄含有量：12mg/粒
一日摂取目安量：1粒
- ・DHC ヘム鉄
鉄含有量：5mg/粒
一日摂取目安量：2粒

【結果】

①ファントム実験

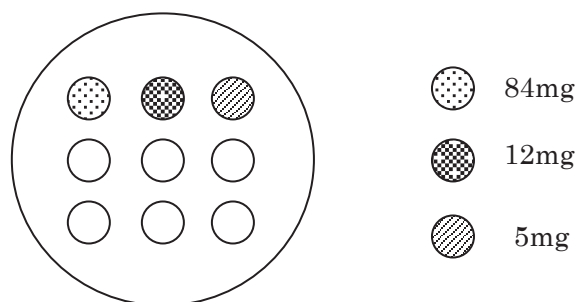
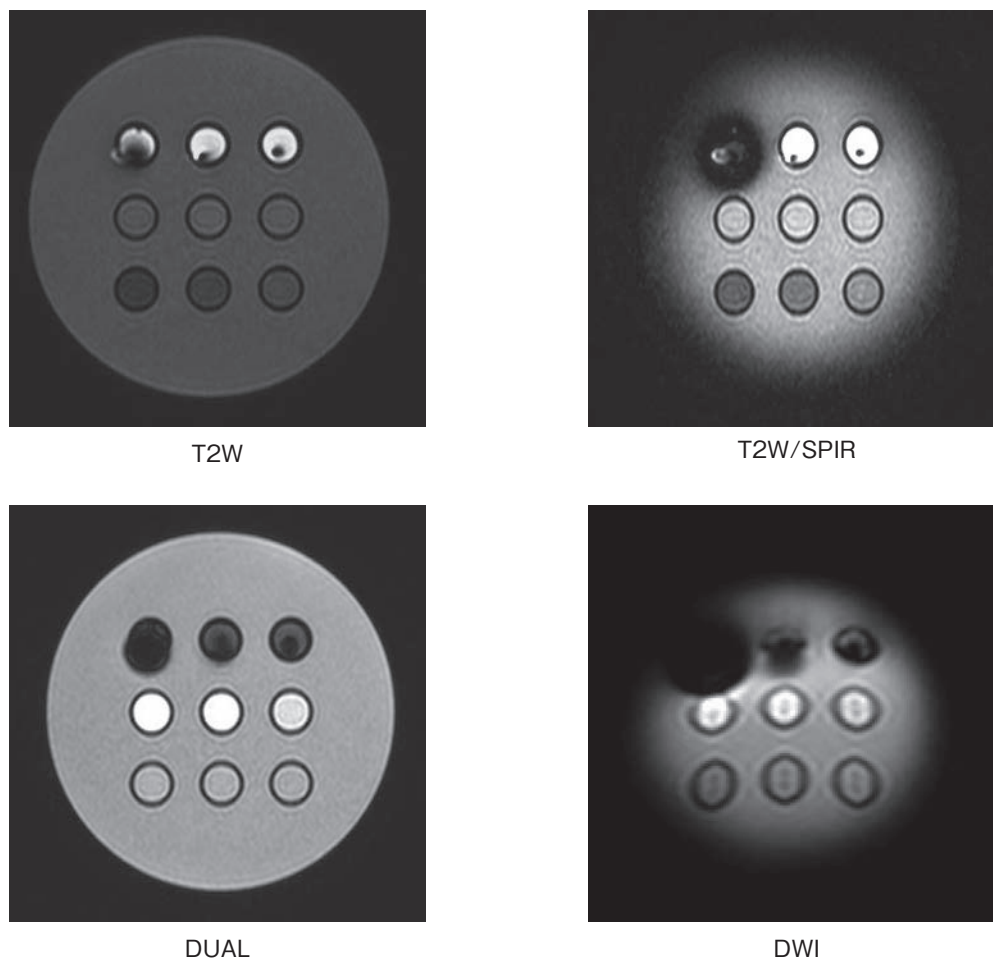


図1 栄養補助食品を配置したファントム

(図1)のように栄養補助食品を配置したファントムを(表1)で示すシーケンスで撮像を行った。得られた画像を(画像1)に示す。それぞれ食品の周辺が歪んでいるのがわかる。



画像1 栄養補助食品を配置したファントム画像

次に得られた画像から歪みの量を計算した。歪みの量は(図2)より以下の式で計算した。

$$\text{歪みの量} = (\text{画像上の歪み } b - \text{食品の大きさ } a)$$

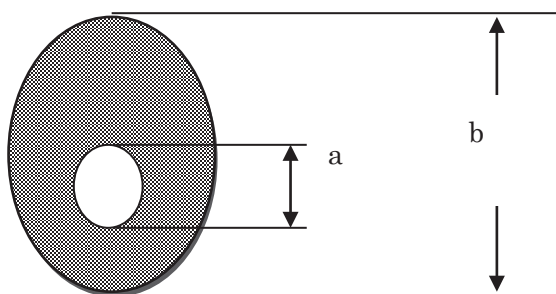
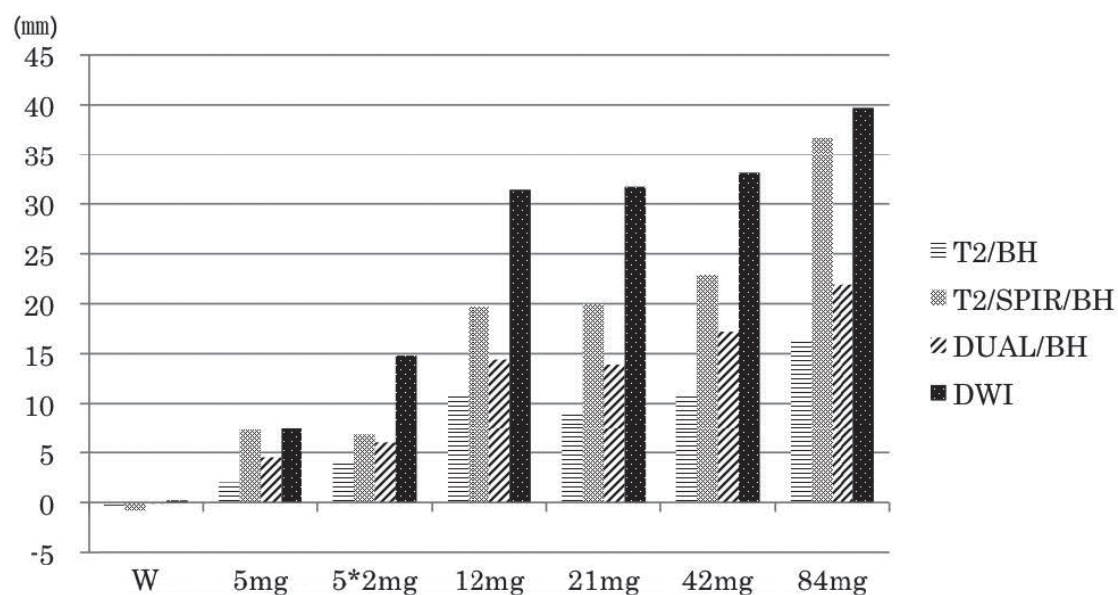


図2

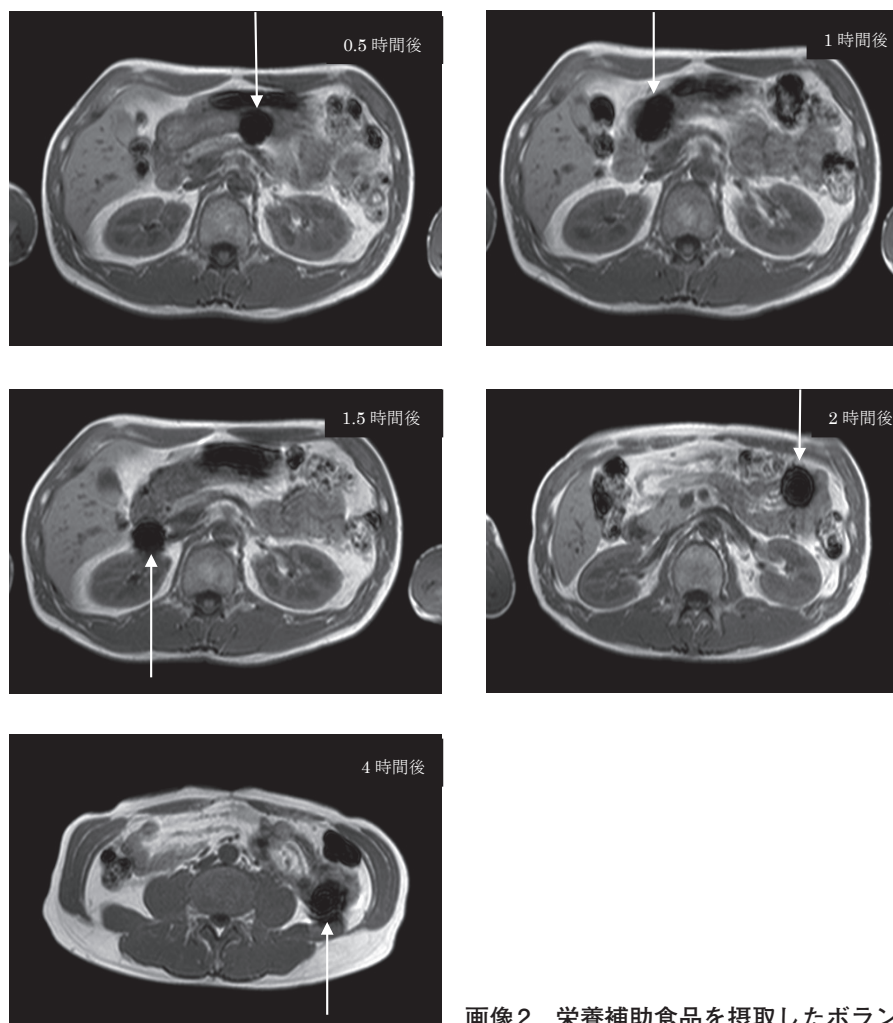
各食品の1粒とDHCの一日摂取目安量(5mg×2粒)、VORを1/2粒(42mg)、1/4粒(21mg)にしたもので計測を行った(グラフ1)。12～48mgの間ではほとんど歪みの差が見られない。



グラフ1 各食品による歪みの量

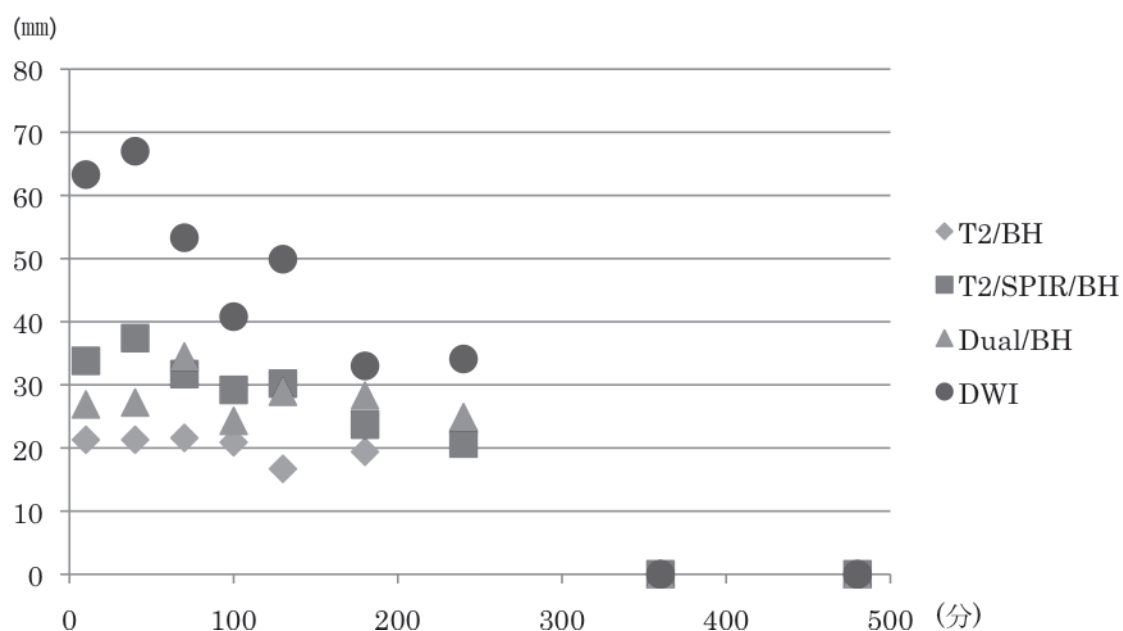
②ボランティア実験

一番鉄含有量の多いVOR (84mg) を摂取してもらい、時間を追って撮像した(画像2)。アーチファクトが大きく周辺臓器にまで歪みが生じている。



画像2 栄養補助食品を摂取したボランティア画像

①と同様に歪みの計測を行った(グラフ2)。どのシーケンスも撮取後4時間後程度まで歪みに大きな変化はなく、6時間程度で歪みがなくなった。



グラフ2 ボランティア実験で得られた画像の歪みの量

【考察】

①ファントム実験

歪みの大きさは鉄の絶対量ではなく、食品の種類に影響された。これは磁束密度の変化が鉄原子の密度または分子構造によるものであったと考えられる。

また、撮像シーケンスごとに歪みの大きさが異なるため、バンド幅やSENSE等のパラメータを調整することで歪みが軽減されることが考えられる。脂肪抑制法に関しても影響を受けにくいものを選択して撮像することが望ましいが、STIRは撮像時間が長くなり息止めが出来ないため、骨盤部検査やDWIの息止めのない検査には有効と考えられる。

②ボランティア実験

撮取後4～5時間程度までは画像上の歪みはほとんど変化がなかった。これはファントム実験でも得られたように栄養補助食品の大きさが1/4になっても歪みの大きさがほとんど変化しなかったことに一致すると考えられる。

また、撮取後6時間程度経過すれば腸管ガスとの区別ができなくなるため画像上の歪みの影響は無視できると考えられる。

【結語】

鉄を含む栄養補助食品では、MRI画像に影響を与えることが確認された。腹部の検査前には服用を停止してもらうか、十分に時間をおいて撮像することが必要になる。可能であれば撮取から6時間程度開けて撮像するのが望ましい。



「Exposure Indexを利用したX線撮影条件の適正化に関する研究」



○竹安 直行

日本赤十字社医療センター

【背景】

放射線画像は、近年大半の画像がデジタル画像へ移行したと言っても過言ではない。

一般撮影領域に目を向けると、デジタルラジオグラフィー（以下、DR）装置が普及したことにより、撮影後の画像調整や閲覧画像の即時性、また画像保管の簡便性があげられる。そして、広いダイナミックレンジを有していることも特徴としてあげられるが、過剰な線量であれば画質に影響がないが、過少線量で撮影を行うと粒状性の低下により再撮影が必要となるため、過剰線量で撮影する傾向があると言われている。

過剰線量を少なくし、適正な線量で撮影を行うことができる方法を検討した。

【目的】

Exposure Index を使い、被写体厚から適正な撮影条件を計算式で導くことを検討する。

（股関節撮影）

【使用機器】

- ・一般撮影装置：島津製作所 RADIOTEX UD150B-40
- ・FPD システム：富士メディカル CALNEO FLEX デテクタ：GOS
- ・グリッド：三田屋商事 格子比10:1 密度 60本 収束距離 120cm
- ・線量計：Unfors RaySafe AB社 RaySafe X2 (R/F Sensor)
- ・骨盤部ファントム：株式会社 京都科学 腰ファントム (PB-3)
- ・アクリルファントム：株式会社 京都科学 アクリルファントム

【方法】

1. 視覚評価試験による適正な股関節画像の検討

視覚評価による正規化順位法を用いて、FPD デテクタに入射する適正な EI 値 (以下、EI_t) を決定する。
また、EI_t 値から撮影許容範囲 (以下、DI : Deviation Index) を、設定する。

2. 股関節厚から撮影条件を導く計算式の検討

撮影条件は、管電圧 70kV、線源-デテクタ間距離 (以下、SID) 120cm を固定条件とする。

- a. アクリルファントムを用いて、線減弱係数とグリッド露出倍数の検討を行い、被写体厚から、被写体を無くした時の EI 値 (以下、I (EI)) を求める計算式を導出する。
- b. I (EI) を、独自の換算表から撮影条件を算出する。

撮影対象は、金属などのエックス線不透過の面積により EI 値が変動するため、体内金属の無い患者を対象とした。

3. 計算式で得られた撮影の検討

【結果】

1. 視覚評価試験による適正な股関節画像の結果

CR で撮影している平均的な撮影条件を 100% として、線量を 10% 変化させ、10 枚のサンプルを作成し、医師 5 名 放射線技師 5 名で評価を行った。奈良県立医科大学の順位法プログラムを使用して EI_t を導くと、1150 となった。

また、AAPM (AMERICAN ASSOCIATION of PHYSICISTS IN MEDICINE) REPORT NO.116 の指針から DI は 1025 から 1290 となった。

つまり、撮影画像の EI 値は、1025 から 1290 の範囲で撮影されていれば、適正な撮影条件で撮影できたと考えられる。

2. 股関節厚から撮影条件を導く計算式の結果

- a. 被写体厚から被写体を無くした時の EI 値の計算。

被写体厚を加味した、露出倍数 (B)

$$B = 0.2727 * (x+1) + 3.2148$$

x : 被写体厚

被写体厚を加味した、線減弱係数 ($\mu(x)$)

$$\mu(x) = 0.2047 * (x+1) + 0.4469$$

x : 被写体厚

X線減弱の指数関数法則と距離の逆二乗則を用いて、被写体厚から被写体を無くした時のEI値(I(EI))を求める計算式は、

$$I(EI) = \left(r_1/r_2\right)^2 * EI_t * B * e^{\mu(x)} \quad \dots \text{式 1}$$

I(EI)：換算EI値 Irradiation EI EI_t：被写体透過後のEI値(EI_t)
r₁：焦点Fから被写体表距離(cm) r₂：焦点Fから120cm距離(cm)
B：露出倍数 μ(x)：被写体厚による線減弱係数 x：被写体厚

b. 撮影条件を算出する換算表。

撮影固定条件で、実際の患者を撮影して得られた結果から、各撮影条件における換算EI値表を作成すると、

・臨床撮影結果から、

管電圧 70kV 管電流 200mA 撮影時間 0.14sec EI値 1187 透過線量 2.47 μGy
が得られた。

・上記の撮影条件で被写体無しでの撮影結果から、

管電圧 70kV 管電流 200mA 撮影時間 0.14sec 照射線量 1050 μGy
が得られた。

この関係から、被写体無しの換算EIは、次式で求めた。

$$\text{換算値(EI)} = \text{照射線量}(\mu\text{Gy}) \times 1187/2.469$$

管電圧70kV固定にて、管電流・照射時間を変化させ 各撮影条件の照射線量を計測し、換算EI値用の表を作成した(表1)。

EI値 換算表			
換算EI値	管電流	照射時間	mAs
	mA	sec	
・	・	・	・
・	・	・	・
395667	200	0.11	22
449031	200	0.125	25
504800	200	0.14	28
567299	200	0.16	32
644220	200	0.18	36
721142	200	0.2	40
・	・	・	・
・	・	・	・

表1 換算EI値と撮影条件の関係表

撮影条件の決定は、

- ① 患者の被写体厚を計測する。
- ② 式①からI (EI) 値を求める。
- ③ 換算表の計算EI値の近似値と照合する。
- ④ 換算表から、撮影条件を抽出する (Microsoft Excelの近似値関数を使用)。

となり、Microsoft Excelを使用して、被写体厚を入力すると撮影条件が表示されるように計算表を作って運用している。

3. 計算式で得られた撮影の結果 (表2)

平均EI値1171.1となり、標準偏差は140.9となった。

最大EI値は、1527であり、最少EI値は、843となった (症例数：30例)。

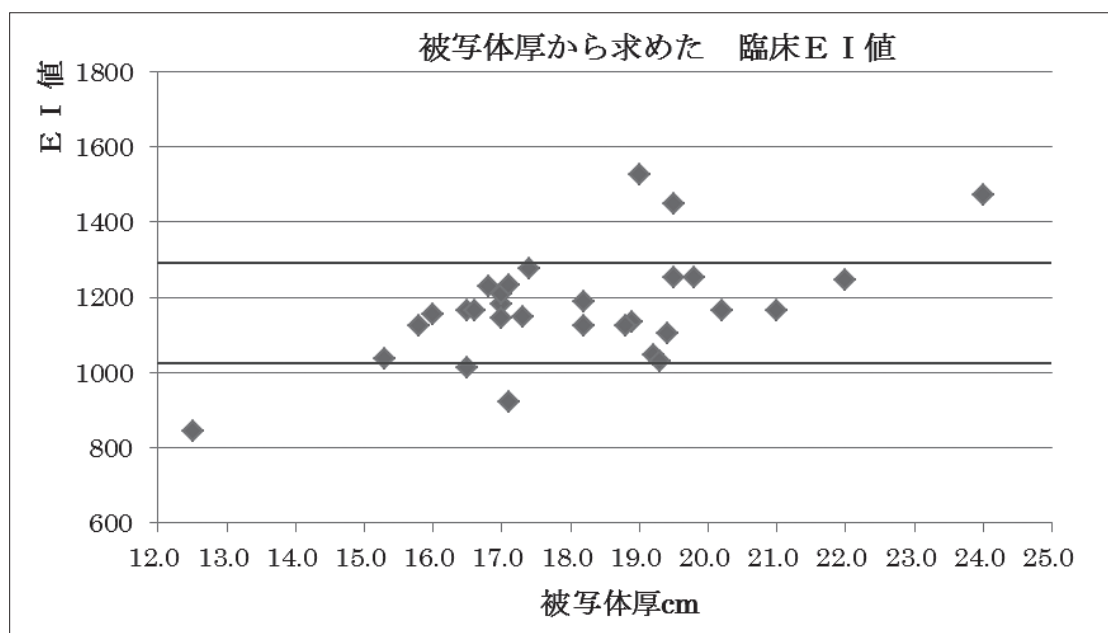


表2 計算で求め撮影したEI値の分布

【考察】

計算で算出された撮影条件の平均EI値は、1171であり、目標であるEI値1150とは、誤差が1.8%高くなった。また、管理幅は、1025から1290内に、80%の症例が入った。

管理幅から外れた20%の症例のうち、1例が過少線量による再撮影を行った。

これは、被写体厚があまりにも薄いために、計算によるずれが生じた為なのか、被写体の構造上の問題なのか原因を突き止めることができなかった。

今の段階では、被写体厚が15cm以上の撮影であれば、この研究は有用性があるといえると考ええる。

【結語】

今後の課題として、管電圧変化やグリッドの変更をどのように改善していくべきか、ディテクタの種類、CR装置やFPD装置であれば、GOSやCSIなどの種類によつてのEI値の変化、また、撮影部位によつても考慮すべきことがあると考ええる。

他施設でも使えるようになれば、DRL (診断参考レベル) の一助になると考える。

第58回きめこまかな生涯教育 印象記

青梅市立総合病院 加藤 葵

第58回きめこまかな生涯教育に参加させていただきました。テーマは心筋梗塞についてでした。講義内容は解剖から治療まで心筋梗塞に関する内容で、講師の方は診療放射線技師だけでなく臨床検査技師や臨床工学技士など、さまざまな職種の方に教えていただきました。私はまだ診療放射線技師1年目の新人ですが、独学では難しいことも丁寧に教えていただき、とてもわかりやすい内容でした。

当院では夜勤は診療放射線技師1名しか従事しておらず、救急搬送された際にはすべて自分で対応しなければなりません。

いままでポータブル撮影や心臓カテーテル検査装置の準備だけにしか意識はなかったのですが、他の検査の内容も知ることによって自分が次にどのように行動すれば良いかを予測しながら挑めるのではないかと思いました。

今回の講義で、心筋梗塞の知識が深まり業務にやりがいを感じました。またもっと勉強して知識を深めたいと思いました。有意義な一日を過ごさせていただきました。講師の皆さまありがとうございました。

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立70年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師(臨床実務経験5年以上)、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学 校 名：東京電子専門学校

住 所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待 遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇
賞与(昨年度実績5.45月)、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00(実働7時間)、週休2日(土日祭休) 休出は代休有、半日有給制度有

社 会 保 険：社会保険完備(私学共済等)

宿舍の有無：なし

応 募 方 法：履歴書(写)、職務経歴書、資格者証のコピー(必要なもののみ)、通勤可能な方、
担当できる教科(可能であればお知らせください)

担 当 者：脇坂 哲夫 E-mail: saiyo@tokyo-ec.ac.jp

TEL: 03(3982)3131(大代表) FAX: 03(3980)6404

OTAフェスタ感想文

昭和大学病院 大杉英治

私は11月12日から13日に、大田区平和島で開催されたOTAふれあいフェスタに参加させていただきました。OTAふれあいフェスタは「地域のふれあい」「交流の輪」を育む目的で始まったイベントです。東京都診療放射線技師会では乳がんファントムを用いた触診体験、被ばく相談、放射線検査の説明、骨密度測定を通して、地域住民の健康維持に関してアドバイスを行うとともに、診療放射線技師の職務を長年にわたって広報しています。

今回私が印象に残ったこととして、骨密度の結果説明を行った際、昨年度の骨密度のデータを持参され、毎年東京都診療放射線技師会が行っている骨密

度測定に、興味を持って参加しているといわれていたことです。東京都診療放射線技師会はこのような地域主催のイベントに積極的に参加し、住民の方と密接な関係を築き、職務について広報されてきているのだと感じました。

今回OTAふれあいフェスタは初めての参加であり緊張しましたが、城南支部委員会の方々と交流を深め、良い体験ができたと感じました。今後もOTAふれあいフェスタに参加し、各種イベントのお手伝いができるようになればと感じました。参加させていただき、ありがとうございました。

OTAふれあいフェスタ体験記

帝京大学医学部附属溝口病院 勝山紗希

平成28年11月12日(土)、13日(日)に開催されました「OTAふれあいフェスタ」に東京都診療放射線技師会の一員として参加させていただきました。

私はファントムによる乳がん触診体験の補佐を主に行いました。体験を勧めるとたくさんの方が興味を持っていただいたと感じました。特に、芸能人の乳がん報道が大きく報じられている影響か、小さな子供がいる若い世代の興味が強かったと思います。用意されていた2つのファントムのうち、進行した硬癌の模擬病変があるものを触ると、こんなに分かりやすいものなのかと驚いている方がたくさんいらっしゃいました。初期段階のしこりが模擬されているファントムで体験をしていただくと、硬癌のしこりを触った後ではどの位置にしこりがあるのか分

からない方が圧倒的に多かったです。

自己検診は3本の指の腹を使って行う理由で、小さなしこりは面積を広くした状態で触診しないと見逃す場合があるということを話すと、とても納得していただくことができました。また、ファントムを机においている場合とファントムを自分自身の乳房のように設置して触診する場合では、指に触れるしこりの感覚に違いがあるということを理解していただくことができ、触診をして積極的に乳がん検診のパンフレットを持ち帰る方がたくさんいらっしゃいました。

女性だけではなく、男性や子供も興味を持って触診し貴重な体験になったと言ってもらい、有意義な時間を過ごせたと感じております。

OTAフェスタに参加して

NTT東日本関東病院 中西雄一

毎年恒例の大田区区民祭り「OTAふれあいフェスタ2016」が開催されました。私は第8地区委員としてほぼ毎年大田フェスタに参加しています。今年は11月12日と13日に開催され、例年2日間で30万人が訪れる大田区最大のイベントのひとつです。

東京都診療放射線技師会は毎年「水のエリア」と呼ばれる平和島競艇場内にブースを設置して「骨密度測定」と「乳がんの触診体験」を行っています。

私は12日土曜日を担当しました。10時開始なのですが、開始前にも関わらず「骨密度測定」にはすでに人が並び始めたため、一旦他のブースをまわっていただくようにお話しして10時を迎えました。しかし機器トラブルで測定を開始できず、1時間遅れの11時より測定開始となりました。その後は来ていただいた方々をお待たせすることなく順調に測定していき、昼までに100人程度測定しました。

「骨密度測定」を受けていただいた方の中には、毎年東京都診療放射線技師会のブースに足を運んでいただき「骨密度測定」を受けることを楽しみにしている方もいらして、非常に有意義な活動であることを実感しました。また「乳がんの触診体験」では触診体験をする人が途切れず、乳がんに対する関心の高さを実感しました。

昼休みの後、「骨密度測定」は順調に件数を伸ばし、「乳がんの触診体験」も非常に多くの方に来場いただきました。毎年「OTAふれあいフェスタ」に参加して、東京都診療放射線技師会の目的である“都民の健康及び医療、並びに保健の質の維持発展に寄与すること”ということを身近に感じる良い機会だと考えます。

現在参加している会員は城南支部委員会や広報委員会の方々を中心にしてはいますが、来年はぜひ参加してみたいという会員の方がいらしたら一緒に「骨密度」を測りましょう！



おとな時間in 早稲田の杜に参加して

JR東京総合病院 牛川多恵・龍尾香朱美

私たちは、平成28年11月21日(月)にリーガロイヤルホテル東京で開催された「おとな時間in 早稲田の杜～こころとからだ暮らしの彩り～」に参加させていただきました。

イベントの内容は、人生をアクティブに楽しむ大人向けの美容・健康・学びなどに関する一日限定のもので、医療関係者だけでなく美容関係者や芸能界の方々が講演や商品宣伝、無料検査体験など幅広いワークショップが集結していました。私たちは『からだのケンサ体験パーク』の「乳がんを探せ」というコーナーを担当し、乳房触診体験や乳がんの自己検診など乳がんの啓蒙活動に取り組んできました。

私たちがこのイベントに参加したきっかけは上司からの誘いでしたが、東京都診療放射線技師会の

手伝いとして、長谷川理事、大内広報委員、高嶋さんとともにイベントを盛り上げました。このような大々的なイベントに参加したことは初めてでしたが、さまざまな方と触れ合えることができました。お話をしていく中で、普段私たちが疑問に思わないことや不安に思っていることを改めて実感することができました。また、診療放射線技師として働いている中で、自己検診についてお話しする機会がなかったため、自分たちにも十分な知識がないなか、諸先輩方からアドバイスいただけて対応することは、もちろん自分たちの成長にもつながりました。

今回このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



こ え

市民健康のつどいに参加して

武蔵村山病院 大月智絵

東村山市の第32回市民健康のつどいのお手伝いをさせていただきました。東村山市民産業まつりと同時開催されていたこともあり、とてもにぎやかなイベントでした。

私たちが主にお手伝いさせていただいたのは、ピンクリボンキャンペーンの中の“しこりあて体験”でした。同時開催されていた東村山市民産業まつりでは山車が出たり、野菜の無料配布やお茶の詰め放題、用意されたステージ上では東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー歓迎セレモニーの歌やダンス、楽器の演奏などが行われていました。また、東村山市が誇るB級グルメの黒焼きそばや地域ブランドの食品を扱った屋台がたくさん出展されて

いました。そのため、限られた年代の人たちだけでなく、たくさんの老若男女、幅広い人たちに自己触診のやり方や重要性、検診のすすめなど伝えることができたと思います。

市民健康のつどいの方もとても充実していて、骨密度測定や医師・歯科医師による健康相談、育児相談、そして気になったらすぐに申し込めるよう検診受付窓口もありました。スタンプラリーも開催しており子供でもゲーム感覚で健康について学べるよう工夫がしてありました。病気には暗いイメージがありますが、このように楽しくにぎやかな雰囲気の中で、健康について学べるイベントはとても素晴らしいと思いました。



超音波画像研究会 定例会・講演会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

第248回定例会

最近耳にする機会の増えたNASH、非B非Cの肝臓の話題で重要なのは背景肝です。背景肝が問題なような症例で肝腫瘍が見つかった際、HCCを除外してよいのか!? 除外する事の危険性やそれに関連する話についてなどを、松本先生にご講演いただきます。

日 時：平成29年2月8日(水) 19時00分 (受付18時30分より)

会 場：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

(東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505)

テ ー マ：『最近耳にする肝疾患 ～非B非C肝がんとは? その背景肝とは?～』

講 師：日本大学医学部消化器肝臓内科 松本 直樹 先生

参 加 費：会員500円/準会員・非会員1,000円/新入会3,000円(入会金含む)/学生無料

レベルアップセミナー 所見レポート HOW TO...

ラボデータからの推測、超音波所見の見方、カテゴリー分類、レポート記入などについて知識を総括し、ステップアップするためのセミナーです。ぜひご参加いただきたく、下記のとおりご案内申し上げます。

日 時：平成29年3月26日(日) 8時40分～17時40分

会 場：中央医療技術専門学校

内 容：1) 胆嚢胆道の所見と所見記入 9:00～10:30
2) 肝疾患 10:40～12:10
3) 脾疾患 13:00～14:30
4) 腎脾 14:40～16:20
5) 課題 16:30～17:30

参 加 費：会員外 10,000円、正会員 8,000円 (いずれも昼食費を含む)

募集人員：30名 (20名以上で開催)

申込方法：ホームページ閲覧のうえ、mailまたはfaxにてお願いいたします。

問合せ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて

TEL：03-3691-1879 (16時30分～18時00分)

超音波画像研究会 事務局 e-mail：us.image.workshop@gmail.com

会員動向

平成28年1～12月期

年 月	総会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年 1月	2,154	5	0	0	4
平成28年 2月	2,156	8	5	1	10
平成28年 3月	2,136	3	7	2	28
平成28年 4月	2,146	12	4	1	5
平成28年 5月	2,176	34	2	3	3
平成28年 6月	2,214	38	2	0	2
平成28年 7月	2,242	29	0	1	0
平成28年 8月	2,223	11	1	0	31
平成28年 9月	2,251	30	2	2	2
平成28年10月	2,272	20	2	0	1
平成28年11月	2,274	5	0	0	3
平成28年12月	2,244	10	1	1	40

イエローケーキ

馬のきもち

2016年12月4日日曜日、私はモノレールに乗っている。モノレールと言えは羽田空港に行くイメージだが今日は違う。途中の大井競馬場前駅で下車するためだ。駅に降りた瞬間に馬糞のにおいが立ち込める。「ああ競馬場に来たんだなあ」と実感する。

競馬場の中に入ると競走馬の姿は無い。そう今日は第3回大井競馬場マラソン大会である。競馬場を馬ではなく人間が走る大会である。

この大会に、われわれの病院の仲間で結成した“TTHランナーズ”も参加することになり、42.195kmリレーマラソンにエントリーした。チームは7名(医師3名、診療放射線技師4名) 男女混合チームで、実に7人中5人が喫煙者であり、体重は平均よりも重く、デブ&スモーカーズチームといった方がしっくりくる。

さて会場にスタート15分前に着いた私は、まだ2人しか来ていないことに気づく。やむをえず、第一走者は私が走る事になった。スタートまで距離があったため、スタート位置まで走る。スタート位置には競馬と同じスタート台があり、私は迷わず3番のゲートに並んだ。足元はフカフカの砂地である。一般的に地方競馬場は芝が無く、すべてダート(砂地)コースである。スタート時間になりゲートが一斉に開かれた。走り出した瞬間に馬はこんな道を走っているのか? とにかく足をとられて第1コーナーから第4コーナーまできついマラソンであった。最終コーナーを回って最後の直線で速度を上げようとしても無理である。競走馬は1000mを1分で走り抜く。馬力という言葉があるが、なるほど馬の力と書くのも納得である。

最後に助人としてMRIから超伝導戦隊磁場レンジャーの磁場グリーン(お腹と乳首が出ている写真)を召集しましょう。結果は好成績を狙ったがてんで走れず、130チーム中110番台であった。まあ、その後はお決まりの飲み会で盛り上がり、帰路につくこととなった。

皆さんも機会があれば、ぜひ参加してみてください。

恋する50歳



News

2月号

日 時：平成28年12月3日（土）

午後4時40分～午後5時20分

場 所：私学共済「対岳荘」

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、野口幸作、
浅沼雅康、市川重司、江田哲男、長谷川雅一、
鈴木雄一、安宅里美、関 真一、齊藤謙一、
竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、市川篤志、
原子 満、工藤年男

出席監事：葛西一隆

指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稲毛秀一（第5地区
委員長）、鎌田 修（第8地区委員長）、千葉利
昭（第11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員
長）、雨宮広明（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）

欠席理事：高野修彰、崎浜秀幸

議 長：篠原健一（会長）

司 会：石田秀樹（副会長）

議事録作成：村山嘉隆

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：2名

会長挨拶

はるばる箱根までお集まりいただきましてありがとうございます。毎年恒例の役員研修会兼理事会です。きちんと審議するべきするところは審議しながら、第二部でさらに来年以降に向けての話を含めて協議したいと思えます。よろしくお願い致します。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし

石田副会長

・11月30日（水）NOCは欠席です。

3) 専門部委員会

厚生調査部：江田委員長

11月30日に本年度のアンケート調査の活動会議を行いました。今回は297施設に対して診療放射線技師の夜勤帯の業務勤務体制についてのアンケート調査を行っていますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

・その他、活動報告書に追加なし

4) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし

5) 地区活動報告

第3地区：平瀬地区委員長

専門部委員会後の開催でしたので報告します。11月25日に第3地区研修会を開催しました。皆さまのご協力により30名ほどで開催することができました。ありがとうございました。報告書は追って送ります。

第1地区：齊藤地区委員長

報告遅れましたが、11月15日に地区委員会を開催しています。後で報告書を送ります。

城北支部：稲毛地区委員長

城北支部研修会を11月11日に開催しました。参加者51名です。ご協力いただきありがとうございました。

・その他、活動報告書に追加なし

6) その他

・活動報告書に追加なし

議 事

1) 事業申請について

①平成28年度第6回業務拡大に伴う統一講習会（南関東・東京）

テーマ：業務拡大に伴う統一講習会

日 時：平成29年2月12日（日）

：平成29年2月19日（日）

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター
について審議した。

篠原会長：1月は元々年度の計画にあったのですが、日本診療放射線技師会の方から、まだ1万人の目標に対して5千数百人台ということなのでテコ入れがあり、東京でもできるだけ開催しようということです。東京都診療放射線技師会自身は全国で一番多くの受講生を出していますが、会員全体の母数が多いのでどうしても会員比率からすると数字が下がってしまうということになります。皆さま今後ともご協力よろしくお願い

致します。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

②第63回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：明日から役立つ知識

日 時：平成29年2月24日(金)

場 所：東放技研修センター開催

について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

③平成28年度第8地区研修会

テーマ：「X線の医療応用(仮)」、「シーメンス社血管撮影装置 Artis Qの使用経験について」

日 時：平成29年2月25日(土)

場 所：NTT東日本関東病院 健康管理棟6階 会議室

について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

④平成28年度第9地区研修会

テーマ：夜勤時における撮影のポイント(基礎編)

日 時：平成29年2月28日(火)

場 所：板橋区立グリーンホール

について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑤平成28年度第5地区研修会

テーマ：胸部ポータブルX線画像の読影

日 時：平成29年3月3日(金)

場 所：東京大学医学部附属病院

について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑥第6地区meeting(第64回日暮里塾ワンコインセミナー共同開催)

テーマ：そうだったのか基礎知識(一般撮影・バリウム検査・医療事故編)

日 時：平成29年3月4日(土)

場 所：中央医療技術専門学校

について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑦平成28年度SR推進委員会研修会

テーマ：緊急被ばく医療講習会

日 時：平成29年3月12日(日)

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑧ピンクリボンウオーク 2017

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

日 時：平成29年3月26日(日)

場 所：日比谷公園

について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

2) 新入退会、会費免除者について

11月：新入会5名、退会3名

会費免除者：1名

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見

【第2地区】：関谷地区委員長

新春のつどいの案内をしたのですが、プラチナ会員など長年にわたり技師会費を納めた人は会費の優遇制度というものをご検討いただけないかという要望がひとつ上がりました。

篠原会長：来年は間に合いませんので、ご意見として伺っておきます。参加費を安くすることはできるだけ考えようとしており、以前一度安くしてそれから新卒新入会も無料にしました。地区の皆さまの貴重な意見として今の段階ではお伺いしておきます。

連絡事項

1) 情報委員会：安宅委員長

原稿の方があまり集まっていないので、年度末部分もありますので、1月に載らないことも考えられますので、なるべく早くいただくようによりしくお願い申し上げます。

2) 編集委員会：浅沼委員長

1月号の原稿入稿はもう締め切りが過ぎていますので本日のみ受け付けます。また個人にも伺いのメールは送っていますので、返事がない方は掲載意志のないものと受け取ります。

3) 厚生調査部：江田委員長

JARTとの事業活動で南関東女性推進班の方から、出産を経験されている人たちのアンケート調査という依頼が厚生調査委員会の方にきました。今どういうところを対象とするかということで検討中ですが、どうしてもパーシャルな対象になりますので皆さまの各地区から2～3名の対象者を探していただくことが一番良いと考えています。具体的に決まりましたらまたお願いいたしますので、何分多忙とは思いますがご協力お願い致します。ちなみにこちらは平成29年度の関東甲信越の学術大会で発表する予定という話も聞いています。個人のアンケート調査なので内容的にも秘匿が発生するところもありますので、知り合いを通じてという形が一番良いと考えておりますので、ご紹介していただければと思います。東京都の会員から30通は集めてくださいと依頼されています。

その他

1) 工藤地区委員長

事務所の静脈認証システムについて、もう少し詳しく教えてほしい。時間管理、運用などが詳しく知らない。専門部委員会の方が知っていても理事が知らないのはお

かしい。

関経理委員長：事務所の鍵を普通のアナログキーから電子キーに交換しました。今まで持っていた方々に登録してあります。

篠原会長：鍵が指になり、運用的に開けられる人が多くなるとかではなく、鍵の複製ができずセキュリティが強化されたところが違うだけで、解錠できる人は変わっていません。説明は十分してきたと思います。

野口庶務委員長：鍵当番の人が仕事で来られなかったり、電車の事故などで遅れたりというような不測の事態に対応できるようになり、今までより運用に支障がなくなり、また、セキュリティが高くなりました。

鈴木総務委員長：鍵の運用については、事業申請していただいた時に鍵をどうするかを相談できればと思います。その前に詳細をまとめて次回理事会の資料として配信させていただきます。

野口庶務委員長：申請した時間の少し前に自動的に開く方式もでき、鍵当番という形で考えなくても大丈夫な部分もあります。ただ誰かが行く（対応する）形で動かそうと思います。

2) 篠原会長

最後に私のほうからお知らせが2つあります。来年のお話ですが、新春のつどいが1月13日（金）に開催されます。皆さまにお願いしていますが、技師会の新春のつどいですのでメーカーの方のほうが多いというようなことにならないように専門部委員会の皆さま、各地区の皆さまもよろしくお願い致します。前々からお願いしているのは地区委員の数以上の参加です。地区委員の方が10名の地区であれば10名以上が地区からの参加になるようにぜひ声をかけていただいて、皆さまとおおいに未来

の話をしながら新年を祝いたいと思います。それから各メーカーの皆さんにも、お誘いの声をかけてください。これから皆さまのところに挨拶にくると思いますが、もちろんメーカー宛への発送はしておりますが、全ての営業の方一人一人に案内状が届いているというわけではないので、ダブっても良いので一人でも多くメーカーの方への声をかけを宜しくお願い致します。

決定ということではありませんが、会誌の印刷を依頼している会社が適正な値段でやっているのか、毎年見積もりを出していただいています。しかし小さな会社で、いづつどうなるか分からないので、ずっと任せきりなのも不安な部分もあります。もう少し安定しているメーカー会社の選択、あるいは今は印刷、製本している会社と発送している会社は別なのですが、それが本当に良いのかどうか、効率や費用など検討しています。少なくとも本年度に関しては切り替えるにしても予算内に収まるように致しますし、もし正式になったときにはまたあらためて理事会で皆さまに報告します。そういったことも今検討しているということをお知らせしておきます。

今後の予定について

鈴木総務委員長：いつも通りですけれども、事業計画を頻繁にお送りさせていただいて申し訳ありませんが、確認していただいて重複があったりしましたら連絡ください。それから事業計画表を出してくださいとメールさせていただいています。本日までが期限です。それ以外の書類に関しても遅れる場合にもご連絡ください。連絡がないのが一番困りますのでお願いします。

以上

イエローケーキ

携帯電話

私が初めて携帯電話を使い始めたのは平成7年頃、まだ持っている人も少なく、持っているという満足感を得たいが為に、高い料金を毎月払って格好つけていました。

現在では小学生までもが持つようになり、誰もが持っているのが当たり前の時代です。世の中、ものすごいスピードで進化しています。電車の中では雑誌や新聞を読む人が激減し、スマートフォンを片手にする人を多く見ます。情報が瞬時にわかりとても便利なガジェットです。

しかし、歩いているときぐらいはね、やめましょうよ。日本人はモラルが高いといわれますがどうでしょう。

JetKousuke

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成28年度

1. 学術研修会

☆第15回ウィンターセミナー 平成29年 2月18日(土)

第19回メディカルマネジメント研修会 平成29年 3月7日(火)

2. きめこまかな生涯教育

第59回きめこまかな生涯教育 平成29年 3月25日(土)

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第63回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年 2月24日(金)

第64回日暮里塾ワンコインセミナー (第6地区研修会共同開催)
平成29年 3月4日(土)

☆4. 支部研修会

城西支部研修会 平成29年 2月10日(金)

5. 地区研修会

第16地区研修会 (TART・SART地区合同勉強会) 平成29年 2月18日(土)

第8地区研修会 平成29年 2月25日(土)

第9地区研修会 平成29年 2月28日(火)

第5地区研修会 平成29年 3月3日(金)

第6地区研修会 (第64回日暮里塾ワンコインセミナー共同開催)
平成29年 3月4日(土)

6. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会 (旧災害対策委員会研修会) 平成29年 3月12日(日)

7. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

平成28年度第6回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年 2月12日(日)、19日(日)

平成28年度第7回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年 3月4日(土)、5日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

お詫びと訂正

「東京放射線」2016年12月号の「平成28・29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員名簿」の掲載に、誤りがありましたので下記のとおり訂正させていただきます。

39ページ 右側 第14地区 最下段

委員 柏田 勝司 耳鼻咽喉科 サージセンターちば ⇒ 削除

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

編集委員会

Postscript

今年の「東京放射線」の表紙のカラーは「桜色」。1月号にも説明があった通り、限りなく白に近いピンクの「ソメイヨシノ」の花の色をイメージしています。桜は日本人にとって特別な花であることは言うまでもありませんが、東京都診療放射線技師会の現・編集委員会にとっても非常に思い入れの深い花でもあります。

ある月の編集委員会のこと。その日はたまたま早く会務が終わり、せっかくだから30分だけ(?)飲んで帰しましょうということになりました。事務所近くの「さくら」のつく居酒屋で、サクラハイを飲みながら「そういえば、日本三大桜って知っている?」から始まり、ソメイヨシノは実はすべてクローンだとか、昔、荒川堤に五色桜(78種のサトザクラが植えられており、その花が咲いた風景は五色の雲をたなびかせたように見えたそうです)があったとか、気づけば桜の話だけで大いに盛り上がってしまい、あっという間に3時間が過ぎていました。

ちなみに日本三大桜は桜の種類ではなく名所で、三春滝桜(福島県)・淡墨桜(岐阜県)・神代桜(山梨県)です。近いようで遠く、なかなか見に行くこ

とができません。でも、いつか見に行きたいですね。そんな話をしながら、将来、編集メンバーがそれぞれ違う場所で活躍することになっても、また集まって桜の下で桜の話をしながら酒を飲めたらいいなと強く思いました。編集委員会は会誌を作っていくという大きな楽しみがありますが、何よりも活動を通してかけがえのない素敵な仲間たちに巡り合えたことは、私にとって本当に大きな財産です。

まもなく春。別れと出会いの季節になります。皆様にとって素敵な出会いがありますように!

(chai姉)



■ 広告掲載社

コニカミノルタジャパン(株)
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フイルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第64巻 第2号

平成29年1月25日 印刷(毎月1回1日発行)

平成29年2月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません
電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃